

◆ 2024 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：認定NPO法人 川口市民環境会議

27A-15

代表者：代表理事 浅羽 理恵

URL : www.ne.jp/asahi/eco/ecolife

1. 活動が必要とされた状況

- ① エコライフ DAY を市内全学校でデジタルにより実施し、その結果を身近な環境教育の教材として、学校に提供する必要があります。
- ② 「子ども環境フォーラム 2024」をコロナ後 2 回目の対面式で開く必要があります。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

(1) エコライフ DAY のデジタル化の推進

エコライフ DAY チェックシートのデジタル版プログラムを作成し、その QR コードを配布しました。参加方法の周知を周知ポスターの校内掲示や YouTube 動画で行いました。6 月のエコライフ DAY には 64,455 人の市民（川口市民の 10.6%）が参加しました。学校別の実施状況について、グラフを使って分かり易くデータを整理し、要請に応じてメールにより学校に提供しました。



参加方法の YouTube 動画

(2) 子ども環境フォーラム 2024 の開催

〈実施期間〉2024 年 11 月 30 日（土）

〈発信場所〉川口市立安行小学校

〈参加人員〉150 名

〈活動内容〉第 1 部の環境活動発表では、川口自然っ子クラブなど 4 団体から発表がありました。第二部では、子どもたちは 10 のワークショップに分かれて、講師の指導のもと、自然素材のもの作りや自然観察などの体験を楽しく行いました。ワークショップ終了後の報告会では、自分の作った作品などを見せながら、ワークショップに参加して楽しかったことや学んだことを報告し、活動の振り返りと体験の共有を行いました。



子ども環境フォーラムの様子

3. 活動の成果

- ① エコライフ DAY では、市民の環境配慮行動を通じ 57.8 トンの二酸化炭素（CO2）を削減することができました。その結果の学校別の実施状況について、要請に応じて学校に提供しました。
- ② 子ども環境フォーラムでは、対面開催で 150 名の子どもたちや保護者に楽しく参加していただき、参加者アンケートでは 92%の方から「良かった」との評価を得ました。

4. 今後に残された課題

エコライフ DAY では、デジタル化の定着によって、地域の地球温暖化防止普及啓発事業として継続を図ります。子ども環境フォーラムでは、開催場所となる小学校の協力を得ることが課題です。